

福岡市教員採用試験

令和8年度(2025年実施)

教職教養

共通問題

問1 次のア～エの四字熟語の意味を選んだとき、正しい組合せを選びなさい。

ア 内憂外患

- a 内は柔順だが、外は剛健であること。
- b 国内の心配事と外交上の災害のこと。

イ 不倶戴天

- a 相手を生かしておけないほど深く恨むこと。
- b 会うものは必ず別れる運命にあるということ。

ウ 多岐亡羊

- a 多くの客が次々に訪れること。
- b 方針が多く、思案に困ること。

エ 一気呵成

- a 意気込みが盛んなこと。
- b 一気に作り上げること。

	ア	イ	ウ	エ
①	b	a	b	b
②	a	a	a	a
③	a	b	a	b
④	b	b	b	a

問2 次のことわざ・慣用句とその意味の組合せとして、誤っているものを選びなさい。

ことわざ・慣用句	意味
① 面目を施す	名誉を高めること。
② 血道をあげる	物事に熱中して分別を失うこと。
③ 髀肉の嘆をかこつ	容色などの衰えをなげくこと。
④ 蛇の道はへび	同類の者は互いにその方面のことに通じていること。

問3 n を自然数とする。 $\sqrt{(360/n)}$ が整数となるような n の値の個数を求め、正しい答えを選びなさい。

- ① 1
- ② 2
- ③ 3
- ④ 4
- ⑤ 5

問4 次の(1)～(4)の各文は、消費者問題に関するものである。文中の(ア)～(エ)に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

- (1) 1962年、アメリカの(ア)大統領が示した「4つの権利」(安全を求める権利, 知らされる権利, 選ぶ権利, 意見が反映される権利)を受けて, 日本でも消費者主権の意識が高まり, 消費者運動が盛んになった。
- (2) 1995年には(イ)(PL法)が施行され, 消費者が欠陥製品による被害を受けた場合, 企業側の過失を証明できなくても, 損害賠償を求められるようになった。
- (3) 訪問販売などで商品を購入した場合, 一定期間内であれば無条件に契約を解除できる(ウ)制度が定められた。
- (4) 2001年には, 消費者に不利益を与える条項を無効とし, 事業者が重要な情報を伝えないなどの不適切な行為に基づく契約を取り消す(エ)が施行された。

	ア	イ	ウ	エ
①	レーガン	製造物責任法	ペイオフ	消費者契約法
②	ケネディ	消費者安全法	ペイオフ	特定商取引法
③	レーガン	消費者安全法	クーリング・オフ	特定商取引法
④	ケネディ	製造物責任法	クーリング・オフ	消費者契約法

問5 下の天気図の記号は、ある場所での気象観測の結果を示したものである。この記号が示している三つの気象要素(天気, 風向, 風力)について、最も適切な組合せを選びなさい。

	天気	風向(風のふいてくる方向)	風力
①	晴れ	南東	2
②	晴れ	北西	3
③	くもり	北西	2
④	くもり	南東	3

問6 次の対話文は、友人AとBの会話である。文中の（ア）～（エ）に入る適当なものをそれぞれa～cから選んだとき、最も適切な組合せを選びなさい。

A: Good morning! Oh, you look sleepy today. (ア)

B: At 7:00 a.m. I almost overslept.

A: Did you stay up late last night?

B: Yes. I am going to take an English test today, so I studied hard last night.

A: I hope you pass the test. Good luck! What time did you want to get up this morning?

B: At 5:30 a.m.

A: Really? 5:30? (イ) How long do you usually sleep each night?

B: About seven hours.

A: (ウ)

B: I stretch my body and walk my dog.

A: Don't you get sleepy at school?

B: (エ) When I wake up early, I feel refreshed and can concentrate during lessons.

a. Were you talking on the phone until late at night?

ア b. What time did you get up this morning?

c. Why were you sleeping on a sofa?

a. Why not?

イ b. That's fast!

c. How early!

a. What did you do last night?

ウ b. What are you doing after the meeting?

c. What do you usually do in the morning?

a. Yes, I do.

エ b. Not at all.

c. No, you don't.

	ア	イ	ウ	エ
①	a	c	b	a
②	b	b	a	c
③	b	c	c	b
④	c	a	c	c

問7 次の(1)～(3)の各文は、「日本国憲法」の条文の一部を抜粋したものである。文中の(ア)～(オ)に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

- (1) すべて国民は、法の下に(ア)であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。
- (2) (イ)の自由は、何人に対してもこれを保障する。いかなる宗教団体も、国から(ウ)を受け、又は政治上の権力を行使してはならない。
- (3) 地方公共団体は、その(エ)を管理し、(オ)を処理し、及び行政を執行する権能を有し、法律の範囲内で条例を制定することができる。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	公平	信仰	特権	資産	実務
②	公平	信教	支援	資産	事務
③	平等	信仰	支援	財産	実務
④	平等	信教	特権	財産	事務

問8 次の文は、「学校教育の情報化の推進に関する法律」(令和元年法律第47号)の条文の一部を抜粋したものである。文中の(ア)～(エ)に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

第十四条

国は、情報通信技術を活用した(ア)な教育方法の普及、情報通信技術の活用による教育方法の改善及び情報教育の充実並びに情報通信技術の活用による(イ)の効率化を図るため、学校の教員の(ウ)及び学校の教職員の研修を通じたその(エ)の向上のために必要な施策を講ずるものとする。

	ア	イ	ウ	エ
①	体系的	学校事務	採用	技術
②	効果的	学校事務	養成	資質
③	体系的	教務運営	採用	資質
④	効果的	教務運営	養成	技術

問9 次の文は、「令和6年版 環境白書・循環型社会白書・生物多様性白書」(環境省)「第1部 総合的な施策等に関する報告」「第1章 第六次環境基本計画が目指すもの」の一部を抜粋したものである。文中の下線部ア～エについて、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せを選びなさい。

2024年5月に、第六次環境基本計画を閣議決定しました。環境基本計画は、ア環境基本法に基づく、政府全体の環境保全施策を総合的かつ計画的に推進するための計画です。個別分野の環境政策については地球温暖化対策計画、循環型社会形成推進基本計画、生物多様性国家戦略といった個別分野の計画においてより詳しく施策が記載されるので、環境基本計画の役割としては、環境・経済・社会の統合的向上など環境政策が全体として目指すべき大きなビジョンを示すとともに、今後5年間程度を見据えた施策の方向性を示すことが主といえるでしょう。

環境基本計画は、1994年に策定されて以来、今回が第六次の計画となりますが、今回の計画の特徴は何でしょうか。

まず、今回の計画は、イ地殻変動、生物多様性の損失及び汚染という3つの危機への強い「危機感」に基づいています。現代文明は持続可能ではなく転換が不可避であり、化石燃料等の地下資源に過度に依存し物質的な豊かさに重きを置いた「線形・規格大量生産型の経済社会システム」から、地上資源を基調とする、無形の価値、心の豊かさをも重視した「循環・高付加価値型の経済社会システム」への転換が必要です。そのために目指すべき社会について、第五次計画に引き続き「ウ循環共生型社会」と呼びつつ、「環境収容力を守り環境の質を上げることによって経済社会全体が成長・発展できる文明」と概念を発展させています。

今回の一番の特徴は、環境基本計画が目指すべき最上位の目的として、「現在及び将来の国民一人一人の生活の質、幸福度、エウェルビーイング、経済厚生の上昇」を位置付けたことです。

	ア	イ	ウ	エ
①	×	○	○	×
②	○	×	○	○
③	×	○	×	○
④	○	×	×	×

問10 次の各文は、「消費者基本法」(昭和43年法律第78号)の条文の一部を抜粋したものである。文中の(ア)～(エ)に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

第四条

地方公共団体は、第二条の消費者の(ア)及びその自立の支援その他の基本理念にのっとり、国の施策に準じて施策を講ずるとともに、当該地域の(イ)、経済的状況に応じた消費者政策を推進する責務を有する。

第十七条

国は、消費者の自立を支援するため、消費生活に関する(ウ)の普及及び情報の提供等消費者に対する啓発活動を推進するとともに、消費者が生涯にわたって消費生活について学習する機会があまねく求められている状況にかんがみ、学校、地域、家庭、(エ)その他の様々な場を通じて消費生活に関する教育を充実する等必要な施策を講ずるものとする。

	ア	イ	ウ	エ
①	選択機会の尊重	社会的	制度	職域
②	権利の尊重	生活環境	制度	消費者団体
③	権利の尊重	社会的	知識	職域
④	選択機会の尊重	生活環境	知識	消費者団体

問11 次の文は、「教育基本法」(平成18年法律第120号)の条文の一部を抜粋したものである。文中の(ア)～(エ)に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

第六条

法律に定める学校は、公の性質を有するものであって、国、地方公共団体及び法律に定める法人のみが、これを設置することができる。

2 前項の学校においては、教育の目標が達成されるよう、教育を受ける者の(ア)の発達に応じて、(イ)な教育が組織的に行われなければならない。この場合において、教育を受ける者が、学校生活を営む上で必要な(ウ)を重んずるとともに、自ら進んで学習に取り組む(エ)を高めることを重視して行われなければならない。

	ア	イ	ウ	エ
①	心身	体系的	規律	意欲
②	能力	体系的	自由	自主性
③	心身	計画的	規律	自主性
④	能力	計画的	自由	意欲

問12 次の(1)～(4)の各文は、法律の条文の一部を抜粋したものである。文中の(ア)～(エ)に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

(1) 学校の教職員，地方公共団体の職員その他の児童等からの相談に応じる者及び児童等の保護者は，児童等からいじめに係る相談を受けた場合において，いじめの事実があると思われるときは，いじめを受けたと思われる児童等が在籍する学校への(ア)その他の適切な措置をとるものとする。

【いじめ防止対策推進法第23条第1項】

(2) 我が国と郷土の現状と歴史について，正しい理解に導き，伝統と文化を尊重し，それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養うとともに，進んで外国の文化の理解を通じて，(イ)を尊重し，国際社会の平和と発展に寄与する態度を養うこと。

【学校教育法第21条第3項】

(3) 全て国民は，児童が良好な環境において生まれ，かつ，社会のあらゆる分野において，児童の年齢及び発達の程度に応じて，その(ウ)が尊重され，その最善の利益が優先して考慮され，心身ともに健やかに育成されるよう努めなければならない。

【児童福祉法第2条第1項】

(4) 父母その他の保護者は，子の教育について第一義的責任を有するものであって，生活のために必要な習慣を身に付けさせるとともに，(エ)を育成し，心身の調和のとれた発達を図るよう努めるものとする。

【教育基本法第10条第1項】

- | | ア | イ | ウ | エ |
|---|----|----|----|-----|
| ① | 報告 | 自国 | 意見 | 道徳心 |
| ② | 通報 | 他国 | 意見 | 自立心 |
| ③ | 報告 | 他国 | 人格 | 道徳心 |
| ④ | 通報 | 自国 | 人格 | 自立心 |

問13 次の(1)～(4)の各文は、発達及び学習について述べたものである。文中の(ア)～(エ)に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

- (1) シュテルン (Stern, W.) は、発達は遺伝と環境との相互作用によるものであるとして(ア)を提唱した。
- (2) ローレンツ (Lorenz, K.) の体系的な研究により、(イ)という現象が広く知られるようになり、発達における初期経験の重要性が示された。
- (3) 学習がどのように成立するかを示す学習理論は、刺激と反応の結びつきを重視し、同じ場면을繰り返し経験することによって学習にいたるとする(ウ)と、繰り返しを経験することなく1回の刺激だけで行動が変容する場合に適用できる認知説の二つに大別することができる。
- (4) (エ)とは、学習が成立するために必要な身体的発達、経験、知識などが備わっている状態であり、成長に基づく不可変なものと、その学習をするための前提となる知識や技能といった可変的なものがある。

	ア	イ	ウ	エ
①	環境閾値説	アタッチメント	連合説	レジリエンス
②	輻輳説	アタッチメント	サイン・ゲシュタルト説	レジリエンス
③	環境閾値説	インプリンティング	サイン・ゲシュタルト説	レディネス
④	輻輳説	インプリンティング	連合説	レディネス

問14 次の各文は、『令和の日本型学校教育』を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（答申）（令和6年8月中央教育審議会）「第2章教師を取り巻く環境整備の基本的な考え方」「2. 教師を取り巻く環境整備の目的」の一部を抜粋したものである。文中の下線部ア～エについて正しいものを○，誤っているものを×としたとき，正しい組合せを選びなさい。

- 具体的には，教師のこれまでの働き方を見直し，長時間勤務の是正を図ることで，教師の健康を守ることはもとより，日々の生活の質や教職人生を豊かにするなど教師の^アウェルハビングを向上させることが重要である。また，自らの人間性や創造性を高め，その意欲と能力が最大限発揮できる勤務環境を整備し，教師がその高い^イ専門性を大いに発揮できるようにすることにより，子供たちに対してよりよい教育を行うことができるようになる。
- 加えて，これから長い教職人生を歩む若手教師をはじめとする全ての教師はもとより，教師を志す学生等にとっても，学校が，働きやすさと^ウ働きがいとを両立する職場であることは重要なことである。このような魅力的な職場の中で教師が生き活きと働いている姿は，多くの教師を志す学生等を引きつけ，教師に質の高い人材を確保することにつながるため，^エ抜本的に教職の魅力を上向きさせることは，結果として，子供たちへのよりよい教育の実現につながっていくものである。

	ア	イ	ウ	エ
①	○	×	×	○
②	×	×	×	×
③	○	○	○	×
④	×	○	○	○

問15 次の文は，「生徒指導提要」（令和4年12月文部科学省）「第I部 生徒指導の基本的な進め方」「第1章 生徒指導の基礎」「1. 1 生徒指導の意義」「1. 1. 1 生徒指導の定義と目的」の一部を抜粋したものである。文中の（ア）～（エ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

（2） 生徒指導の目的

生徒指導の目的は，教育課程の内外を問わず，学校が提供する全ての教育活動の中で児童生徒の人格が尊重され，個性の発見と（ア）の伸長を児童生徒自らが図りながら，（イ）資質・能力を獲得し，自らの資質・能力を適切に行使して（ウ）を果たすべく，自己の幸福と社会の発展を児童生徒自らが追求することを支えるところに求められます。

（略）

また，生徒指導の目的を達成するためには，児童生徒一人一人が自己指導能力を身に付けることが重要です。児童生徒が，深い（エ）に基づき，「何をしたいのか」，「何をすべきか」，主体的に問題や課題を発見し，自己の目標を選択・設定して，この目標の達成のため，自発的，自律的，かつ，他者の主体性を尊重しながら，自らの行動を決断し，実行する力，すなわち，「自己指導能力」を獲得することが目指されます。

	ア	イ	ウ	エ
①	人間性	基盤となる	自己実現	共感性
②	よさや可能性	基盤となる	社会参画	自己理解
③	人間性	多様な社会的	社会参画	共感性
④	よさや可能性	多様な社会的	自己実現	自己理解

問16 次の文は、「生徒指導提要」（令和4年12月文部科学省）「第Ⅱ部 個別の課題に対する生徒指導」「第4章 いじめ」「4. 1 いじめ防止対策推進法等」「4. 1. 2 法の目的といじめの定義」の一部を抜粋したものである。文中の（ア）～（オ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

いじめは、相手の人間性とその尊厳を踏みにじる「人権侵害行為」であることを改めて共通認識し、人権を社会の基軸理念に据えて、社会の成熟を目指すという決意が表明されています。

法の基本的な方向性は、

- ・（ア）いじめ防止に取り組むこと
- ・重大事態への対処（いじめの重大事態調査を含む。）において公平性・中立性を確保することにあります。そのことを踏まえ、各学校は、
 - ① いじめ防止のための（イ）の策定と見直し
 - ② いじめ防止のための（ウ）組織の構築
 - ③ 未然防止・早期発見・事案対処における適切な対応を行うことが義務付けられました。また、法はいじめの要件を児童生徒間で心理的又は（エ）な影響を与える行為があり、行為の対象者が心身の苦痛を感じていることとし、いじめられている児童生徒の主観を重視した定義に立っています。教職員には校内研修等で、児童生徒には学級・ホームルーム活動等で、保護者には保護者会等で、具体的事例に則して法のいじめの定義の共通理解を促し、どんな小さいいじめも（オ）見過ごさない姿勢を共有することが求められます。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	社会総がかりで	基本方針	実効性のある	物理的	初期段階から
②	保護者と連携して	基本的対応	実効性のある	身体的	相談に応じて
③	保護者と連携して	基本方針	対策	身体的	初期段階から
④	社会総がかりで	基本的対応	対策	物理的	相談に応じて

問17 次の各文は、『令和の日本型学校教育』の構築を目指して（答申）（令和3年1月中央教育審議会）「第Ⅱ部 各論」「4. 新時代の特別支援教育の在り方について」の一部を抜粋したものである。文中の下線部ア～エについて、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せを選びなさい。

- 全ての教師には、障害の特性等に関する理解と指導方法を工夫できる力や、ア年間指導計画などの特別支援教育に関する基礎的な知識、イ合理的配慮に対する理解等が必要である。加えて、障害のある人や子供との触れ合いを通して、障害者が日常生活又は社会生活において受ける制限は障害により起因するものだけでなく、社会における様々な障壁と相対することによって生ずるものという考え方、いわゆる「社会モデル」の考え方を踏まえ、障害による学習上又は生活上の困難について本人の立場に立って捉え、それに対する必要な支援の内容を一緒に考えていくような経験や態度の育成が求められる。また、こうした経験や態度を、ウ多様な教育的ニーズのある子供がいることを前提とした学級経営・授業づくりに生かしていくことが必要である。
- また、目の前の子供の障害の状態等により、障害による学習上又は生活上の困難さが異なることを理解し、個に応じた分かりやすい指導内容や指導方法の工夫を検討し、子供が意欲的に課題に取り組めるようにすることが重要である。その際、困難さに対する配慮等が明確にならない場合などは、専門的な助言又は援助を要請したりするなどして、エ客観的に問題を解決していくことができる資質や能力が求められる。

	ア	イ	ウ	エ
①	○	○	×	○
②	○	×	○	×
③	×	×	×	○
④	×	○	○	×

問18 次の文は、「学校事故対応に関する指針【改訂版】」（令和6年3月文部科学省）「2事故発生の未然防止」「(5) 安全教育の充実」の一部を抜粋したものである。文中の（ア）～（エ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

学校

- 学校安全を図る上では、教職員の研修だけでなく、児童生徒等自身が安全について学び、自ら危険を（ア）できる行動がとれるよう、安全教育の充実が重要である。各学校においては、安全教育の意義・目標を確認し、学校安全計画に基づき、教科等における指導のみならず、（イ）を通じて、その充実を図ることが期待される。
- 現行の学習指導要領においては、防災を含む安全に関する教育の目標が（ウ）され、また小学校においても救命実習を実施する例が増加し、救急の現場で児童生徒が教職員や大人を手伝って活躍する事例も増えている。この面での指導の充実を図ることによって、（エ）の未然防止につながることも期待できる。

	ア	イ	ウ	エ
①	察知	教育活動全体	設定	重大事故
②	回避	教育活動全体	強化	重大事故
③	察知	課外活動等	強化	二次災害
④	回避	課外活動等	設定	二次災害

問19 次の各文は、「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」（平成20年3月人権教育の指導方法等に関する調査研究会議）及び「部落差別の解消の推進に関する法律」（平成28年法律第109号）の一部を抜粋したものである。文中の（ア）～（オ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

「人権教育の指導方法等の在り方について〔第三次とりまとめ〕」

- 知的理解を深めるための指導を行う際にも、人権についての知識を単に（ア）に教え込んだり、個々に学習させたりするだけでは十分でなく、児童生徒ができるだけ（イ）に、他の児童生徒とも協力し合うような方法で学習に取り組めるよう工夫することが求められる。
- 教育活動や日常生活場面の中で、言動に潜む（ウ）がないか、一人一人を大切にしているかを繰り返し点検し、自らの人権意識を絶えず見つめ直す必要がある。
- 人権教育においては、自他の人権を大切にするとともに、他の人とともに文よく生きようとする態度や集団生活における規範等を尊重し、義務や責任を果たす態度、身近な人権問題を解決しようとする実践的な行動力などを、児童生徒に身に付けさせることを目標としており、人権教育の指導の（エ）として、児童生徒の理解が重要となる。

「部落差別の解消の推進に関する法律」

第六条

国は、部落差別の解消に関する施策の実施に資するため、地方公共団体の協力を得て、部落差別の（オ）に係る調査を行うものとする。

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	説明的	積極的	差別性	出発点	意識
②	一方的	積極的	決めつけや偏見	重点	意識
③	説明的	主体的	差別性	重点	実態
④	一方的	主体的	決めつけや偏見	出発点	実態

問20 次の各文は、「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」（平成12年法律第147号）及び「福岡県部落差別の解消の推進に関する条例」（平成31年福岡県条例第6号）の一部を抜粋したものである。文中の（ア）～（エ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

「人権教育及び人権啓発の推進に関する法律」

第六条

国民は、人権尊重の精神の（ア）に努めるとともに、（イ）社会の実現に寄与するよう努めなければならない。

「福岡県部落差別の解消の推進に関する条例」

第十条

県民及び事業者は、結婚及び（ウ）に際しての部落差別事象の発生の防止について、自ら（エ）に努めるとともに、県が実施する施策に協力する責務を有する。

	ア	イ	ウ	エ
①	修養	多様性が認められる	就職	研鑽
②	涵養	人権が尊重される	就職	啓発
③	修養	人権が尊重される	居住	研鑽
④	涵養	多様性が認められる	居住	啓発

選択問題

- (1) 中学校教員（併願者のうち、中学校を第一希望とする者を含む）・養護教員・栄養教員志願者は、問21～問25を選択し、解答しなさい。
- (2) 高等学校教員志願者（併願者のうち、高等学校を第一希望とする者を含む。）は、問26～問30を選択し、解答しなさい。
- (3) 特別支援学校教員志願者は、受験票に記載した区分（小・中・高）に従って問題を選択し、解答しなさい。（小学部の志願者は問21～問25を解答しなさい。）

問21 次の文は、小学校〈中学校〉学習指導要領解説総則編（平成29年文部科学省）「第3章 教育課程の編成及び実施」「第6節 道徳教育推進上の配慮事項」「1 道徳教育の指導体制と全体計画」「(2) 道徳教育の全体計画」の一部を抜粋したものである。文中の下線部a～dについて、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せを選びなさい。

ア 全体計画の意義

道徳教育の全体計画は、学校における道徳教育の基本的な方針を示すとともに、a 道徳科の学習を通して、道徳教育の目標を達成するための方策を総合的に示した教育計画である。

学校における道徳教育の中軸となるのは、学校の設定する道徳教育の基本方針である。全体計画は、その基本方針を具現化し、学校としての道徳教育の目標を達成するために、どのようなことを〈に〉重点的に推進する〈取り組む〉のか、各教育活動はどのような役割を分担し関連を図るのか、家庭や地域社会との連携をどう進めていくのかなどについて総合的に示すものでなければならない。

このような全体計画は、特に次の諸点において重要な意義をもつ。

- (ア) 人格の形成及び国家、社会の形成者として必要な資質の育成を図る場として b 学校の特色や実態及び課題に即した道徳教育が展開できる各学校においては、様々な教育の営みが人格の形成や国家、社会の形成者として必要な資質の育成につながっていることを意識し、特色があり、課題を押さえた道徳教育の充実を図ることができる。
- (イ) 学校における道徳教育の c 内容項目を明確にして推進する〈取り組む〉ことができる学校としての c 内容項目を明確にし、それを全教師が共有することにより、a 道徳科の学習で行う道徳教育に方向性をもたせることができる。
- (ウ) 道徳教育の要としての〈、〉道徳科の位置付けや役割が明確になる道徳科で進める〈担う〉べきことを押さえると同時に、教育活動相互の関連を図ることができる。また、全体計画は、道徳科の d 発問計画を作成するよりどころにもなる。
- (エ) (略)
- (オ) (略)

	a	b	c	d
①	○	×	×	○
②	○	○	×	×
③	×	×	○	○
④	×	○	×	×

問2 2 次の各文は、『令和の日本型学校教育』を担う質の高い教師の確保のための環境整備に関する総合的な方策について（答申）」（令和6年8月中央教育審議会）「第2章教師を取り巻く環境整備の基本的な考え方」
「1.『令和の日本型学校教育』を担う教師及び教職員集団の姿」「(1) 学びに関する高度専門職としての教師」の一部を抜粋したものである。文中の下線部ア～オについて正しいものを○，誤っているものを×としたとき，正しい組合せを選びなさい。

- 教育の本質は，教師と子供たちとの人格的な触れ合いにあり，単なる知識，技術の伝達にとどまるものではなく，教育を受ける者の権利の保障を目指してその成長を促す営みである。その上で，教育基本法第9条第1項に規定されているとおり，教師は，自己の崇高な使命を深く自覚し，絶えず研究とイ修養に励み，その職責の遂行に努めることが求められている。
- 教師の在り方については，これまでも中央教育審議会で議論が重ねられてきた。例えば，「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について（答申）」（平成24（2012）年8月28日中央教育審議会）においては，教師に求められる力として大きく3点で整理された。
 - ① 教職に対する責任感，探究力，教職生活全体を通じて創造的に学び続ける力（使命感や責任感，教育的愛情）
 - ② 専門職としての高度な知識・技能（教科や教職に関する高度な専門的知識，新たな学びを展開できるエリーダーシップ，教科指導・生徒指導・学級経営等を的確に実践できる力）
 - ③ 総合的な人間力（豊かな人間性や社会性，コミュニケーション力，同僚とチームで対応する力，地域や社会の多様な組織等とオ連携・協働できる力）

	ア	イ	ウ	エ	オ
①	○	○	○	×	×
②	○	×	×	○	○
③	×	○	×	×	○
④	×	×	○	○	×

問23 次の各文は、「次期教育振興基本計画について（答申）」（令和5年3月中央教育審議会）「Ⅱ. 今後の教育政策に関する基本的な方針」の一部を抜粋したものである。文中の下線部ア～エについて正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せを選びなさい。

②誰一人取り残さず、全ての人の可能性を引き出す共生社会の実現に向けた教育の推進

（共生社会の実現に向けた教育の考え方）

- 誰一人取り残さず、相互に^ア可能性を認め、高め合い、他者のウェルビーイングを思いやることができる教育環境を個々の状況に合わせて整備することで、つらい様子の子供が笑顔になり、その結果として自分の目標を持って学習等に取り組むことができる場面の一つでも多く作り出すことが求められる。
- これまで学校では「みんなて同じことを、同じように」することを過度に要求され、「同調圧力」を感じる子供が増えてきたことが指摘されている。異なる立場や考え、価値観を持った人々同士が、お互いの組織や集団の境界を越えて混ざり合い、学び合うことは、「同調圧力」への偏りから脱却する上で重要であり、学校のみならず^イ家庭・地域と連携して重視していくべき方向性である。また、そのことを可能にするための土壌として、「^ウ風通しの良い」組織・集団であることが大切である。そのためには、子供のみならず大人も含めて、多様性を受け入れる寛容で成熟した存在となることが必要である。加えて、これまでの同一年齢で同一内容を学習することを前提とした教育の在り方に過度にとらわれず、日本型学校教育の優れた蓄積も生かして、個別最適な学びと^エ協働的な学びを一体的に充実していくことも重要である。

	ア	イ	ウ	エ
①	○	×	×	×
②	×	○	○	×
③	○	○	×	○
④	×	×	○	○

問24 次の文は、小学校〈中学校〉学習指導要領解説特別活動編（平成29年文部科学省）「第2章 特別活動の目標」「第1節 特別活動の目標」「1 特別活動の目標」「(1) 特別活動における『人間関係形成』、『社会参画』、『自己実現』の視点」の一部を抜粋したものである。文中の（ア）～（エ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

①「人間関係形成」

「人間関係形成」は、集団の中で、人間関係を自主的、実践的によりよいものとへ形成するという視点である。人間関係形成に必要な資質・能力は、集団の中において、（ア）、〈から〉実践、振り返りなどの特別活動の学習過程全体を通して、個人と個人あるいは個人と集団という関係性の中で育まれると考えられる。年齢や性別といった属性、考え方や関心、（イ）等を理解した上で認め合い、互いのよさを生かすような関係をつくることが大切である。

なお、「人間関係形成」と「人間関係をよりよく形成すること」は同じ視点として整理している。

②「社会参画」

「社会参画」は、よりよい学級・学校生活づくりなど、集団や社会に参画し様々な問題を主体的に解決しようとするという視点である。社会参画〈のため〉に必要な資質・能力は、集団の中において、（ウ）な活動を通して、個人が集団へ関与する中で育まれる〈もの〉と考えられる。学校は一つの小さな社会であると同時に、様々な集団から構成される。学校内の様々な集団における活動に関わることが、地域や社会に対する参画、持続可能な社会の担い手となっていくことにもつながっていく。

なお、社会は、様々な集団で構成されていると捉えられることから、学級や学校の集団をよりよくしようとするために参画することと、社会をよりよくしようとするために参画することは、「社会参画」という意味で同じ視点として整理している。

③「自己実現」

「自己実現」は、一般的には様々な意味で用いられるが、特別活動においては、集団の中で、現在及び将来の自己の生活の課題を発見し、よりよく改善しようとする視点である。自己実現〈のため〉に必要な資質・能力は、自己の（エ）、自己のよさや可能性を生かす力、自己の在り方や生き方を考え設計する力など、集団の中において、個々人が共通して当面する現在及び将来に関わる課題を考察する中で育まれる〈もの〉と考えられる。

	ア	イ	ウ	エ
①	課題の発見	意見の違い	自発的、自治的	理解を深め
②	話し合い	意見の違い	協働的、親和的	目標を立て
③	課題の発見	得意や不得意	自発的、自治的	目標を立て
④	話し合い	得意や不得意	協働的、親和的	理解を深め

問25 次の文は、小学校〈中学校〉学習指導要領解説総合的な学習の時間編（平成29年文部科学省）「第2章 総合的な学習の時間の目標」「第2節 目標の趣旨」「1 総合的な学習の時間の特質に応じた学習の在り方」「(2) 横断的・総合的な学習を行う」の一部を抜粋したものである。文中の下線部ア～エについて正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せを選びなさい。

横断的・総合的な学習を行うというのは、この時間の学習の対象や領域が、特定の教科等に留まらず〈とどまらず〉、横断的・総合的でなければならないことを表している。言い換えれば、この時間に行われる学習では、教科等の枠を超えて探究する価値のある課題について、各教科等で身に付けた資質・能力を、ア統合・発揮しながら解決に向けて取り組んでいくことでもある。総合的な学習の時間では、各学校が目標を実現するにふさわしい探究課題を設定することになる。それは、例えば、イ国際協力、情報、環境、福祉・健康などの現代的な諸課題に対応する課題、地域や学校の特色に応じた課題、児童〈生徒〉のウ興味・関心に基づく課題〈職業や自己の将来に関する課題〉などである。具体的には、「身近な〈地域の〉自然環境とそこで起きているエ自然災害」、「地域の伝統や文化とその継承に力を注ぐ人々」、「実社会で働く人々の姿と自己の将来」〈「ものづくりの面白さや工夫と生活の発展」、「職業の選択と社会への貢献」〉などを探究課題とすることが考えられる。

	ア	イ	ウ	エ
①	×	○	×	○
②	×	×	○	×
③	○	○	×	×
④	○	×	○	○

kyosai-guild.jp

問26 次の文は、高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)「第1章 総則」「第2款教育課程の編成」「3 教育課程の編成における共通的事項」「(1) 各教科・科目及び単位数等」の一部を抜粋したものである。文中の(ア)～(エ)に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

- 総合学科においては、(ア)による教育課程の区分を設けない課程(以下「単位制による課程」という。)とすることを原則とするとともに、「産業社会と(イ)」及び専門教科・科目を合わせて25単位以上設け、生徒が多様な各教科・科目から主体的に(ウ)できるようにすること。その際、生徒が(ウ)するに当たっての指針となるよう、体系的や専門性等において相互に関連する各教科・科目によって構成される(エ)を複数設けるとともに、必要に応じ、それら以外の各教科・科目を設け、生徒が自由に(ウ)できるようにすること。

	ア	イ	ウ	エ
①	進路	情報	選択履修	類型
②	学年	情報	選択・決定	科目群
③	学年	人間	選択履修	科目群
④	進路	人間	選択・決定	類型

問27 次の文は、高等学校学習指導要領(平成30年3月告示)「第4章 総合的な探究の時間」「第1 目標」を抜粋したものである。文中の(ア)～(エ)に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

探究の見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、自己の(ア)を考えながら、よりよく課題を発見し解決していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 探究の過程において、課題の発見と解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる(イ)を形成し、探究の意義や価値を理解するようにする。
- (2) 実社会や実生活と自己との関わりから問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、(ウ)して、まとめ・表現することができるようにする。
- (3) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、(エ)を生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。

	ア	イ	ウ	エ
①	在り方生き方	概念	整理・分析	互いのよさ
②	生き方	概念	比較・分類	多様性
③	生き方	理念	整理・分析	多様性
④	在り方生き方	理念	比較・分類	互いのよさ

問28 次の文は、高等学校学習指導要領（平成30年3月告示）「第1章 総則」「第5款生徒の発達の支援」の一部を抜粋したものである。文中の下線部a～eについて、正しいものを○、誤っているものを×としたとき、正しい組合せを選びなさい。

I 生徒の発達を支える指導の充実

教育課程の編成及び実施に当たっては、次の事項に配慮するものとする。

(1) 学習や生活の基盤として、教師と生徒との信頼関係及び生徒相互のよりよい人間関係を育てるため、日頃から生徒支援の充実を図ること。また、主に集団の場面で必要な指導や援助を行うガイダンスと、個々の生徒の多様な実態を踏まえ、一人一人が抱える課題に個別に対応した指導を行うカウンセリングの双方により、生徒の発達を支援すること。

(略)

(3) 生徒が、学ぶことと自己の将来とのつながりを見通しながら、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を身に付けていくことができるよう、特別活動を要しつつ各教科・科目等の特質に応じて、キャリア教育の充実を図ること。

	a	b	c	d	e
①	×	×	○	×	○
②	○	○	×	×	×
③	○	×	○	○	○
④	×	○	×	○	×

kyosai-guild.jp

問29 次の文は、「中学校・高等学校キャリア教育の手引き—中学校・高等学校学習指導要領（平成29年・30年告示）準拠—」（令和5年3月文部科学省）「第2章 キャリア教育推進のために」「第3節 全体計画の作成」の一部を抜粋したものである。文中の（ア）～（エ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

キャリア教育は、一人一人のキャリアが多様な側面をもちながら発達していくことを改めて深く認識し、生徒がそれぞれの発達の段階に応じ、自己と（ア）とを適切に関係付け、各発達の段階における発達課題を達成できるよう取組を展開するところに特質がある。そして、これらの（イ）を促進するためには、必要とされる諸能力を（ウ）、継続的に育成していく必要がある。

キャリア教育を体系的に推進していくために欠かせないものが全体計画である。全体計画とは、学校として、キャリア教育の基本的なあり方を内外に示すものである。全体計画を作成することで、学校の特色や（エ）、それに基づいた教育課程へのキャリア教育の位置付けを明確にすることができる。また、各教科・科目等におけるめざす姿や指導の（エ）を確認、共有することができる。

	ア	イ	ウ	エ
①	働くこと	キャリア発達	意図的	重点
②	働くこと	職業的自立	多面的	目標
③	進路	キャリア発達	多面的	重点
④	進路	職業的自立	意図的	目標

問30 次の文は、「生徒指導提要」（令和4年12月文部科学省）「第2章 生徒指導と教育課程」「2.3 道徳科を要とした道徳教育における生徒指導」「2.3.1 道徳教育と生徒指導の相互関係」の一部を抜粋したものである。文中の（ア）～（エ）に当てはまる語句の正しい組合せを選びなさい。

学校における道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、自己（人間として）の生き方を考え、（ア）の下に行動し、自立した人間として他者と共に（イ）ための基盤となる道徳性を養うことを目標としており、道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて行うものともされています。

一方、生徒指導は、「社会の中で（ウ）生きることができる存在へと児童生徒が、自発的・主体的に成長や発達する過程」を支える意図で、教育活動のあらゆる場面において行われるものです。道徳教育が道徳性の育成を直接的なねらいとしている点を除けば、道徳教育と生徒指導はいずれも児童生徒の（エ）のよりよい発達を目指すものであり、学校の教育活動全体を通じて行うという点で共通しています。

	ア	イ	ウ	エ
①	ゆるぎない決意	生活する	自分らしく	個性
②	主体的な判断	よりよく生きる	自分らしく	人格
③	ゆるぎない決意	よりよく生きる	たくましく	人格
④	主体的な判断	生活する	たくましく	個性

解答番号	正答	解答番号	正答	解答番号	正答
1	1	21	4	41	
2	3	22	3	42	
3	3	23	4	43	
4	4	24	1	44	
5	4	25	2	45	
6	3	26	3	46	
7	4	27	1	47	
8	2	28	3	48	
9	2	29	1	49	
10	3	30	2	50	
11	1	31		51	
12	2	32		52	
13	4	33		53	
14	4	34		54	
15	4	35		55	
16	1	36		56	
17	4	37		57	
18	2	38		58	
19	4	39		59	
20	2	40		60	

※配点：1問2点×25問 50点満点